

第2回まちづくり委員会 会議録

開催日時 令和8年9月24日（木）午後7時～午後9時
開催場所 宮若市役所 3階 防災研修室
出席者 吉田委員長、伊藤副委員長、阿部委員、荒川委員、磯島委員、小田委員、オルソン委員、金丸委員、神谷委員、小佐井委員、塩川（節）委員、篠原委員、中川委員、花田委員、樋口委員、平田委員、廣門委員、古野委員、山本委員、吉武委員、植田委員、渡辺委員
欠席者 塩川（晋）委員
事務局 秘書政策課職員4名
傍聴者 0名

次第

1. 開会のことば

2. 本日の協議事項

○概要

まちの魅力・課題・可能性をテーマにグループワークを実施し、5つのグループがそれぞれの話し合いの内容を発表した。各グループは、地域の魅力を出し合い、課題を整理したうえで、それらを今後の可能性にどうつなげていくかという流れで意見をまとめた。

発表では、米や水をはじめとする農産物、豊かな自然、歴史・文化、福岡市と北九州市の中間という立地など、多くの魅力が複数のグループに共通して挙げられた。その一方で、人口減少によって定住が進まないこと、情報発信が弱く知名度が低いこと、交通や教育の面に課題があることなども、共通する認識として示された。

あわせて、空き家の活用、企業との連携、SNSやメディアを使った発信、起業への支援、外国人住民との共生など、各グループ独自の視点からの提案も出された。

○課題

人口減少や若者・子育て世帯の減少により定住につながりにくく、担い手不足や農業の衰退が進む中で、電車がいないなど交通の便の悪さ、教育面の選択肢の少なさ、起業への支援不足、空き家の増加に加え、良い資源がありながら情報発信が弱く知名度が低いこと、

そして外国人住民の増加に伴う文化やルールの違いへの対応が、共通の課題として挙げられた。

○魅力

米・水・農産物をはじめ、温泉や星空などの豊かな自然があり、盆踊りや竹原古墳といった歴史・文化、増えつつあるおしゃれなカフェ、立地する企業、福岡と北九州の中間というアクセスのよさ、さらに地域のつながりの強さや元気な高齢者の活躍まで、多様な魅力がそろっていることが挙げられた。

○可能性

立地やインターチェンジを活かした寄り道・ドライブスポット化、SNSやメディア、食とのタイアップによる発信の強化、空き家の活用、トヨタなど企業との連携(EV・水素バスの運行や住民との交流)、食や水の自立性を活かした災害に強い地域づくり、自治会や地域コミュニティの強みを活かした取り組み、起業への支援、インバウンドの活用や外国人住民との多文化共生を通じて、魅力を定住や観光の拡大につなげられるとの意見が出された。

○まとめ

5つのグループの発表を通じて、地域にはすでに多くの魅力があるものの、それが十分に発信されておらず、特に若い世代や子育て世帯に届いていないこと、そして人口減少が定住や担い手不足、交通・教育などさまざまな課題の背景にあることが、共通の認識として確認された。

こうした認識のもと、地元企業や住民に改めて注目し、SNSやメディアも活用して効果的に発信していくことが重要であるとされた。また、空き家の活用や企業と住民の交流、起業への支援などを通じて、魅力を可能性へとつなげ、定住や観光の拡大を図っていく方向性が示された。

さらに、住民一人ひとりが、ただ住んでいる地域というだけでなく、当事者意識を持って自ら地域の魅力を発信していくというマインドを育てることの大切さや、今後増えていく外国人住民との共生に向けて、文化やルールの違いに対応していく必要性も指摘された。今回の発表で出された意見を、今後のまちづくりの取組の検討に活かしていきたいとの声が上がった。

3. 連絡事項

・市のイベント案内

(1) 宮若市ヒガンバナまつり

日時：10月4日(日) 午後4時～午後8時

場所：犬鳴川河川公園

(2) リコリス子どもまつり

日時：10月11日(日) 午前10時～午後3時

場所：宮若リコリス前広場

(3) スポーツフェスタ

日時：10月18日(日) 午前9時～

場所：種目別各会場

(4) みやわかウォーク2026

日時：10月18日(日) 午前9時～午後2時30分

場所：西鞍の丘総合運動公園

(5) 宮若ふるさと祭

日時：10月25日(日) 午前10時～午後4時

場所：西鞍の丘総合運動公園

4. 閉会のことば